

太平洋目地用タイル 一般用

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0402041
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
製造者等名称	太平洋マテリアル株式会社
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

太平洋目地用タイル モザイク用

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0402042
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
製造者等名称	太平洋マテリアル株式会社
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

太平洋目地用タイル 内装用

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0311011
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
製造者等名称	太平洋マテリアル株式会社
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

タイル用既調合目地材

太平洋 目地用 **タイル**

社団法人 公共建築協会評価品



タイルを引き立たせ、 外壁の耐久性を 高める。

——目地用タイロン——

太平洋目地用タイロンとは……

『太平洋目地用タイロン』は、長年の施工実績の中で培った技術をもって開発した化粧タイル目地材です。

目地の仕上がりかタイルを引き立たせ、建物自体のデザインを生かします。セメント、堅牢無機質骨材、作業性向上材(剤)、無機質顔料などを合理的に配合し、管理した工場で製造しておりますので、現場で練り混ぜるだけで安定した耐久性のある美しい目地を作り上げます。

化粧目地として色調も、〈白〉〈灰〉〈濃灰〉〈特濃灰〉〈黒〉〈特黒〉の6色を取り揃えておりますので、デザインに合わせてお選び下さい。また、防カビ剤を添加した内装用も準備しております。

社団法人 公共建築協会評価品

『一般用』『モザイク用』

特長

- 防水性に優れ、
白華が発生しにくい。
- ひび割れ、変退色が少ない。
- 美しい色調。



25kg/袋 ※「モザイク用」は
地域により袋の
色が異なります。

『内装用』

特長

- 安定した品質、作業性の向上。
- 汚れ、カビの発生を防止。



20kg/袋

白	
灰	
濃灰	
特濃灰	
黒	
特黒	

※印刷の仕上がり具合により実際の色調とは多少の差異がありますのでご了承下さい。

☆注意☆

- 目地用タイロンはセメント同様アルカリ性を示します。誤って眼に入った場合は、直ちに清水で十分に洗浄し、医師の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので直ちに水洗して下さい。
- 目地用タイロンはタイル目地に使用する既調合目地材です。カタログに記載されている方法で使用して下さい。
- 目地用タイロンは社団法人公共建築協会評価品です。(但し内装用は除く)

タイル用既調合目地材 太平洋目地用タイロン 『一般用』『モザイク用』 社団法人 公共建築協会評価品	タイル用既調合目地材 太平洋目地用タイロン 『内装用』
--	---

適用範囲

磁器質・陶器質・せっき質タイルの目地 目地幅 『一般用』……………5.0～15.0mm 『モザイク用』……………2.5～8.0mm	磁器質・モザイク・内装用磁器質タイルなどの目地 目地幅 3mm以下
---	--------------------------------------

標準施工面積

『一般用』……………6～8㎡/袋 『モザイク用』……………10.0～15.0㎡/袋 <small>※目地の深さ、目地幅により施工面積は変動します。</small>	60～68㎡/袋 <small>※目地の深さ、目地幅により施工面積は変動します。</small>
---	---

色調

白色・灰色・濃灰色・特濃灰色・黒色・特黒色 <small>(色見本は前ページの項を参考にして下さい。)</small>	白色
--	----

施工方法

①練り混ぜ

- 『一般用』の1袋当たりの標準使用水量は、5.0～5.5ℓです。
- 『モザイク用』の1袋当たりの標準使用水量は、5.0～6.0ℓです。
- 『内装用』の1袋当たりの標準使用水量は、5.5～6.0ℓです。

まず、3～3.5ℓ(『内装用』は4～5ℓ)の水で硬練り後、残りの水を徐々に加えながら適正な軟度に調整して下さい。
 練り混ぜにはハンドミキサーをご使用下さい。
 ※色調を安定させるため同一場所での使用水量は一定に保って下さい。

②水湿し

あらかじめ、施工する目地下地には水湿しを行い、そのあとに目地詰めを行って下さい。

③目地詰め

目地ゴテやゴムゴテで確実に目地に充填して下さい。その後、目地違い、コテむらが生じないよう目地ゴテで仕上げして下さい。

④清掃

目地用タイロンがある程度硬化したら、ゴムゴテ、スポンジ、布などで十分に施工面を清掃して下さい。

⑤化粧洗い

完全に目地用タイロンが硬化してから、水で化粧洗いを行って下さい。やむを得ず酸洗いを行う場合は、塩酸の30倍希釈液を使用し、その後十分な水洗いを行い使用した酸を完全に洗い流して下さい。

※酸洗いを行う場合は、防護メガネとゴム手袋を必ず着用して下さい。
 万が一、塩酸の希釈液が眼に入った場合は清水で15分以上洗浄し、医療処置を受けて下さい。
 また、皮膚に付着した場合は直ちに多量の水で洗い流して下さい。

注意事項

- ①目地用タイロンはタイル目地に使用する既調合目地材です。他の材料との混合は絶対に避けて下さい。
- ②タイル張付けモルタルとして使用しないでください。

- ③実際の現場では、練り混ぜ水量、施工方法、天候などで、濃淡の差異が生じますので、ご了承下さい。
- ④『内装用』の防カビ性能、防汚性能には施工環境、使用環境により差が生じることがあります。
- ⑤硬化不良防止のため、施工する目地下地にはあらかじめ水湿しを行い、そのあとに目地詰めを行って下さい。
- ⑥夏場の高温時、または、直射日光の当たる場所や風通しの強い場所での施工は避けて下さい。やむを得ず施工を行う場合は、適正な養生を行って下さい。
- ⑦気温が5℃以下の場合や、硬化初期に同様な条件になる場合は、施工を見合わせて下さい。やむを得ない場合は、必ず適切な保温採暖処置を行ってください。
- ⑧プール、温泉施設及び浴室では、本製品の御使用はお控え下さい。セメント成分を侵食する泉質、及び消毒剤を使用する浴槽等では目地の磨耗・欠損し、そのような成分を含まない浴槽においても清掃等により目地の磨耗・欠損が生じる場合があります。
- ⑨タイルの材質、表面形状等により、酸洗いをしてもタイル表面に目地が残る場合があります。
- ⑩コンパネ下地等動きの大きい下地に施工した場合、目地部がひび割れ、欠け等を起こす恐れがあります。
- ⑪セメントと同様に雨露のかからない、湿気の少ない場所で保管して下さい。
- ⑫有機弾性接着剤でのタイル施工において、施工条件(目地幅・厚みが大い等)、また施工環境(通風・直射日光・高温による目地表面への急激な乾燥等)により、施工後の目地用タイロン表面にクラックが発生する場合がございます。

試験結果

I. 『一般用』『モザイク用』

●保水性

保水性 (%)	性能基準値	10分後	
		一般用	モザイク用
	30%以上	39.8	37.4

●社団法人公共建築協会(既製調査目地材の評価基準)による。

●凝結時間

始発(時-分)		終結(時-分)	
一般用	モザイク用	一般用	モザイク用
3-30	5-00	4-55	6-45

●JIS R 5201(セメントの物理試験方法)に準ずる。

●強さ試験

材齢	曲げN/mm ² [kgf/cm ²]		圧縮N/mm ² [kgf/cm ²]	
	一般用	モザイク用	一般用	モザイク用
3日	2.9{29.7}	1.8{18.4}	20.7{211}	14.0{143}
7日	4.6{46.6}	3.8{38.7}	27.0{275}	19.2{196}
28日	6.4{65.2}	4.9{50.4}	30.2{308}	22.1{225}

●JIS R 5201(セメントの物理試験方法)に準ずる。

II. 『内装用』

●保水性

保水性 (%)	性能基準値	10分後
	30%以上	57.1

●社団法人公共建築協会(既製調査目地材の評価基準)による。

●強さ試験

材齢	曲げN/mm ² [kgf/cm ²]	圧縮N/mm ² [kgf/cm ²]
3日	2.5{25}	11.1{113}
7日	4.5{46}	17.0{173}
28日	4.8{49}	18.8{192}

●JIS R 5201(セメントの物理試験方法)に準ずる。

★防カビ試験

JIS Z 2911の一般工業製品の場合	表示3
任意の方法の場合	表示3

注意:カビの発生は目視でははっきりしないので実顕微鏡(×50)で確認した。

★表示

3: 試料または試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。
2: 試料または試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の1/3をこえない。

1: 試料または試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の1/3をこえる。

JIS Z 2911の一般工業製品の項目と任意の方法による。

試験方法

1) JIS Z 2911の一般工業製品の項目

使用した菌: 第1群の(1)、第2群の(1)、第3群の(1)、第4群の(1)、第5群の(1)。

以上の5種類のカビの混合胞子懸濁液を作り、試料に噴霧し、培養する。

培養条件: 温度28±2℃、相対湿度: 95%以上、期間4週間。

2) 任意の方法

試料表面をカビの胞子で接種すると同時に栄養液で汚染させる。

使用した菌

JIS Z 2911の一般工業製品の場合と同じ。

栄養液の成分: ペプトン2g、食塩0.5g、塩化アンモニウム0.5g、尿素0.5g、乳酸0.2gを200mlの水に溶かす。

倍濃度の混合胞子懸濁液と同量づつ混合した。これを試料に噴霧し、培養する。

培養条件: 温度28±2℃、相対湿度: 95%以上、期間4週間。

太平洋マテリアル株式会社

URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

本社 〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル15階
営業本部 機能性材料営業部 ☎03-5500-7512

北海道支店 〒060-0004 北海道札幌市中央区北四条西五丁目1-3 日本生命北門館ビル7階 ☎011-221-5855

東北支店 〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル6階 ☎022-221-4511

青森営業所 〒033-0074 青森県上北郡六戸町小松ヶ丘2-77-608 ☎0176-53-3213

北東北営業所 〒020-0832 岩手県盛岡市東見前1-33-2 盛岡小野田レミコン内 ☎019-639-1260

東京支店 〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル15階 ☎03-5500-7531

西関東営業所 〒195-0081 東京都八王子市横山町6番9号 丸多屋ビル6階 ☎042-645-8831

関東支店 〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4-262-6 ニューセンチュリービル5階 ☎048-614-8470

新潟営業所 〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口2-9-21 森本ビル2階 ☎025-244-7799

中部支店 〒453-0801 愛知県名古屋市中央区太閤三丁目1番18号 名古屋KSビル11階 ☎052-452-7141

北陸営業所 〒920-0919 石川県金沢市南町5-20 中屋三井ビル8階 ☎076-234-1670

静岡営業所 〒422-0000 静岡県静岡市駿河区東新田4-9-37 ☎054-256-8280

関西支店 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 新大阪丸正ビル4階 ☎06-7668-6001

中国支店 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル ☎082-261-7191

山陰営業所 〒683-0823 鳥取県米子市加茂町2-180 国際ファミリープラザ7F 710号 ☎0859-33-7843

四国支店 〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル ☎087-833-5758

九州支店 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル ☎092-781-5331

大分営業所 〒870-0105 大分県大分市西鶴崎1-1-11 トパーズM502 ☎097-523-4911

長崎営業所 〒854-0081 長崎県諫早市栄田町8-22 ☎0957-26-0288

熊本営業所 〒862-0913 熊本県熊本市尾ノ上1-25-21 阿部ビルⅢ302号 ☎096-381-8513

鹿児島営業所 〒892-0823 鹿児島県鹿児島市住吉町13-1 鹿児島港湾ビル ☎099-226-2255

沖縄営業所 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビル3階 ☎098-867-9663

本製品の仕様は、予告なしに変更することがありますので御了承願います。